

日新輝道



東大阪市立日新高等学校

校長室通信 2022.05.10発行

返事！あいさつ！声！ダッシュ！！

「勝因」とは「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」、「敗因」とは「いい加減」「適当」「だいたい」、
今すぐできることは「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を徹底し、日本一輝きを放つ学校を目指します！

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」は、英語では訳せない。

～「心」や「気持ち」がこもった信頼の表現～

4月当初の始業式で、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」は、英語では表現できないということを伝えました。昨日、5月の全校集会では、なぜ「日本一」か、どうすれば「日本一」となるのかについて話しましたが、これらは4月の内容と繋がりますので、もう一度、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」が英語では表現できることについて、再度、伝えさせていただきます。



また、さらに、「勝因」と「敗因」ということについても日頃から伝えていますが、これは「結果」よりも「過程」の在り方にについて表しています。意味をしっかりと理解せず、言葉の表面的なことだけをとらえて短絡的に考えると、本当に伝えたいことは伝わりませんので、このことについてもタイミングを見て再度、伝えさせていただきます。すべてはつながっていますので、皆さんも自分自身でいろいろと深く考えながら、これらの言葉にこだわっていけば非常に意味がありますので、よろしくお願いします。

4月の始業式では、「声」について次のような問い合わせました。よくチームで円陣を組んで、「がんばっていこう！気合入れていこう！」「オーッ！」というような光景を見ることがあります、「あれは一体なんでしょう？」と問いかけました。「声」は英語にすると「voice」ですが、これらの「声」は「voice」で良いのでしょうか。この円陣における光景や、この円陣にこめられた思いはチームや組織によってそれぞれ違うことでしょう。もしかしたら、ただ単に声を出しているだけのチームかもしれません。それなら「voice」で良いかもしれません。

この円陣での光景には、これまで自分たちが取り組んできた練習、取り組んできた過程があり、お互いがどのような目標を持って挑んできたかを、チームのメンバーそれぞれが知っています。わずかの瞬間の円陣ですが、この短い時間のあいだに、自分たちが取り組んできた内容、流してきた汗や悔し涙、また、ナイスプレイと讃えてきた瞬間、支えあってきた思いなど、いろ

いろいろドラマが凝縮されています。それらがわかり合っての「オーッ！」なのです。「あなたを信頼していいですか？」「自分に任せろ！」「頼むぞ」といったさまざまな思いが込められた瞬間の光景です。「気合い入れていくぞ！」と問い合わせたとき、中途半端な返事が返ってくるようでは「信頼」はできません。試合中や演技中にでも、お互いが声を掛け合う場面や、気持ちを交換する場面があるでしょうし、場面によっては無言で目と目を合わせることもあるでしょう。この無言のアイコンタクトも声を交わす以上の会話をしているはずです。つまり「声」は、単にその音を示しているのではなく、「信頼」や「気持ち」、「心の会話」を示しています。ゆえに、「voice」という単語では表現できないと伝えました。

「あいさつ」は人の心を開くもの、気持ちや意思を伝えるもの

「あいさつ」も同様です。英語では「greeting」ですが、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！」の「あいさつ」は単に「greeting」ではありません。朝に会って「おはよう」とあいさつを交わしたとき、それは「昨日はありがとう」という意味かもしれません。「今日もお願ひします」という意味かもしれません。また、「いつも感謝しています。」「ごくろうさま」という意味かもしれません。あるいは、「今日もよろしく」という意味かもしれません。つまり、「あいさつ」は、相手の心に届けるメッセージで、その行動だけを示すものではありません。中途半端なあいさつや、いい加減なあいさつは、逆に相手を不愉快にしてしまうことさえあります。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」の「あいさつ」は、人の「気持ち」や「感謝」「信頼」といった意味が込められていますから、単に「greeting」で表現するものではありません。

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」の「返事」「あいさつ」「声」「ダッシュ」には、それぞれ、「気持ち」や「心」を大切にして欲しいという意味が込められた「人格形成」という意味があります。これらは、前述したように「日本一」や「勝因」「敗因」とつながります。日新高校に来校された方が、生徒のみなさんや先生方のあいさつが「気持ちよい」とほめてくださることが多くなりました。みなさんの心遣いが伝わっているのだと思います。日新高校に一步、足を踏み入れた瞬間に、「この学校は気持ちいいな。」と感じる「空気」を創造したいものです。日頃の生徒の皆さんや先生方の気持ちや思い、そしてそれぞれの行動がそれらの「空気」を創造します。「返事」「あいさつ」「声」「ダッシュ」の一つ一つが「当たり前」として日常の習慣になっていれば、「空気」は変わります。お互いが「信頼」できる取り組みが実践されていれば、それぞれの取り組みの「価値」が変わり磨かれます。それらの取り組みの過程もきっと輝いていることでしょう。

「ダッシュ」についても少し触れました。50mを8秒で走れる人は1秒で6m以上移動します。つまり0.1秒で60cm以上動いています。この0.1秒が大きく勝敗を左右したり、結果を変えたりすることが多々あります。常に、きびきびと行動することを習慣とし、この0.1秒にこだわるか否かは、その人の心の在り方、「人格」に起因します。

「日本一輝きを放つ学校」の主役は日新高校の生徒のみなさんです。素晴らしい主役であってください。